

概要

高齢者を対象に、介護予防及び地域の中での地理的・社会的孤立の予防・解消を目指すため、ショッピングセンターにサロンを開設し、専用のショッピングカートを用いながらお買い物を通じたリハビリテーションを実施する。ほかにも、健康体操の実施や様々な相談等も行っている。

行政課題

高齢化に伴う医療費・介護給付費増加の抑制にむけた効果的な介護予防事業の創出  
 高い高齢化率が背景にあり、高齢者の健康を維持することが、地域全体の活力を維持するという観点から重要課題であった。また、山間部に位置するという地域的特性上、買い物弱者（1）への対応も必要とされていた。地域全体として、様々なチャレンジを推進しており、革新的だが、同時に実験的でもある事業を育成する手段の一つとして、成果連動型に取り組むことを決定した。  
 1：店舗まで500m以上かつ自動車を利用出来ない65歳以上の高齢者

委託概要

対象

- ・雲南市内の65歳以上の高齢者のうち、
  - ・基本チェックリスト（2）により介護予防・日常生活支援総合事業のサービス対象者と判定された者
  - ・または介護保険の要支援1・2の認定を受けた者
- 2：地方公共団体が介護状況を把握するために用いるリスト

内容

- ・自宅から会場まで、**参加者を送迎**
  - ・血圧・体温・健康状態・生活上の**困りごと等の確認**を実施
  - ・ノルディックポールを用いた**健康体操**を実施
  - ・スーパーマーケットでの買い物を促し、**自宅まで送迎**
- 光プロジェクト株式会社が上記取り組みの委託を受け、サービスを提供

期間

令和元年6月～令和2年3月

予算

契約総額950万円  
 最低支払額450万円  
 成果連動型支払い上限額500万円

成果

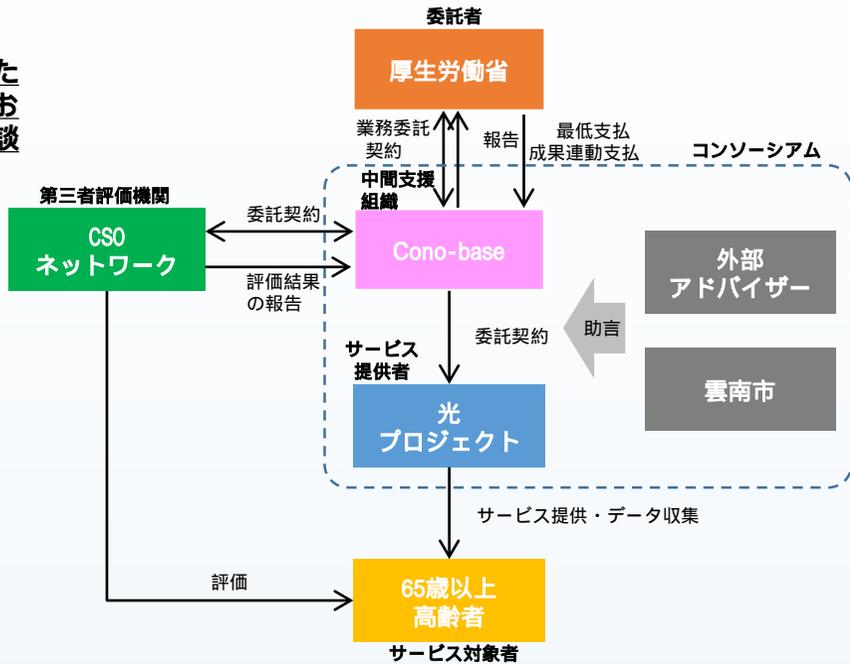
ショッピングリハビリ（総合事業）への出席率：実績87.9% / 目標80%  
 運動機能、認知機能の改善状況：実績：好転20名 / 対象54名

支払額

617万円

PFS活用の利点・課題

- ・地域の事業者にどのような成果を求め、どのように測定するかといった点を議論することが、今後の地域のケアシステムの在り方全体を考える上でのよい契機になった
- ・成果状況に応じた柔軟な成果連動型の支払い条件を設定することが難しい



ノルディックポールを用いた健康体操の様子



専用のショッピングカート



専用のショッピングカートの特徴